

特別資料貸出について

郷土・資料調査室が所蔵する貴重な資料は、出版や映像における地域のPR素材として、または学術研究のために、複製物の特別貸出や特別撮影をおこなっています。ご希望の方は、郷土・資料調査室のホームページで申請の詳細をご確認ください。許可にあたりましては、利用目的や企画内容を総合的に判断させていただきます。

平成25年度の特別取扱件数

特別貸出:33件177点(写真素材:145点、刊行物:31点、浮世絵1点)

特別撮影:1件1点(地図:1点)

種別:映像・番組制作12件、教育・学術研究12件、出版10件

・主な資料提供先:TBSテレビ「噂の!東京マガジン」、ワールドフォトプレス「モノ・マガジン」、デアゴスティーニ・ジャパン「週刊日本の100人」、ジャズジャパン「JAZZ JAPAN」ほか

・主な提供資料:高相嘉男氏写真コレクション、絵葉書、浮世絵など

(平成26年1月末日現在)



▲「モノ・マガジン」2013年6-2号特集カチクラバシ(御徒町・蔵前・浅草橋地域)

平成26年度の企画展

平成26年度の郷土・資料調査室では、下記の企画展を予定しています。詳細は広報たいとう、ホームページ、ポスター、チラシ等でご案内します。

なお下記の展示に関して、専門員によるスライド・トーク(展示解説)を実施します(所要時間30分程度、申込不要)。

「吉原を細かく見る! (仮)」

6月20日(金)～9月17日(水)

「吉原細見」を中心に、浮世絵なども紹介します。下町風俗資料館と連携し、関連講演会などを実施予定。

「日記が語る台東区 (仮)」

9月19日(金)～12月17日(水)

江戸時代の区内を描写した日記をとり上げます。史跡散歩を予定。

「台東区ゆかりの文学 近代の作家たち (仮)」

12月19日(金)～3月18日(水)

「百貨店の時代 松坂屋の復興 (仮)」

3月20日(金)～6月中旬

ただいま開催中

浅草を見つめつづけた写真家 高相嘉男写真展

「ストリート・ストーリー」

平成26年3月21日(金・祝)～6月15日(日)

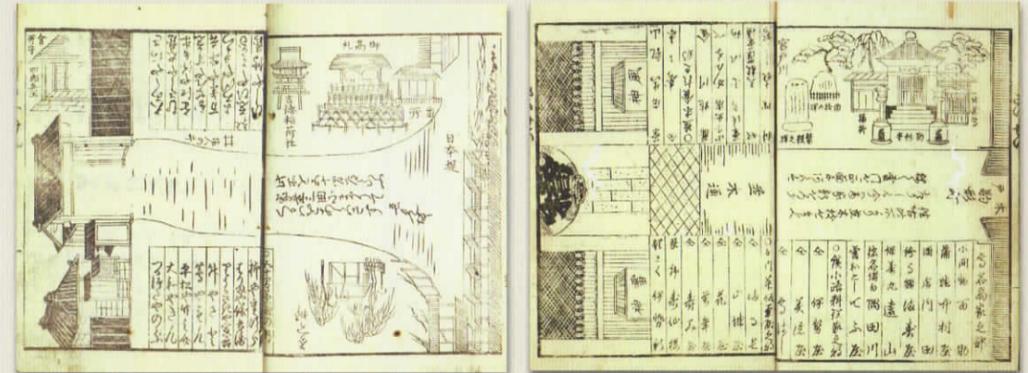
浅草の花川戸に住んでいた写真家高相嘉男氏。平成8年に氏の撮影された写真コレクションの一部が図書館に寄贈され、昭和30年頃から平成初期までの浅草等の様子がうかがえる貴重な資料として図書館で公開しています。郷土・資料調査室では、平成21年から定期的に「高相嘉男写真展」を実施してきました。今回の写真展のテーマは「道」です。高相嘉男氏が切り取った、皆様がよく知っている台東区の数々の「道」の姿を紹介します。



▲上野広小路

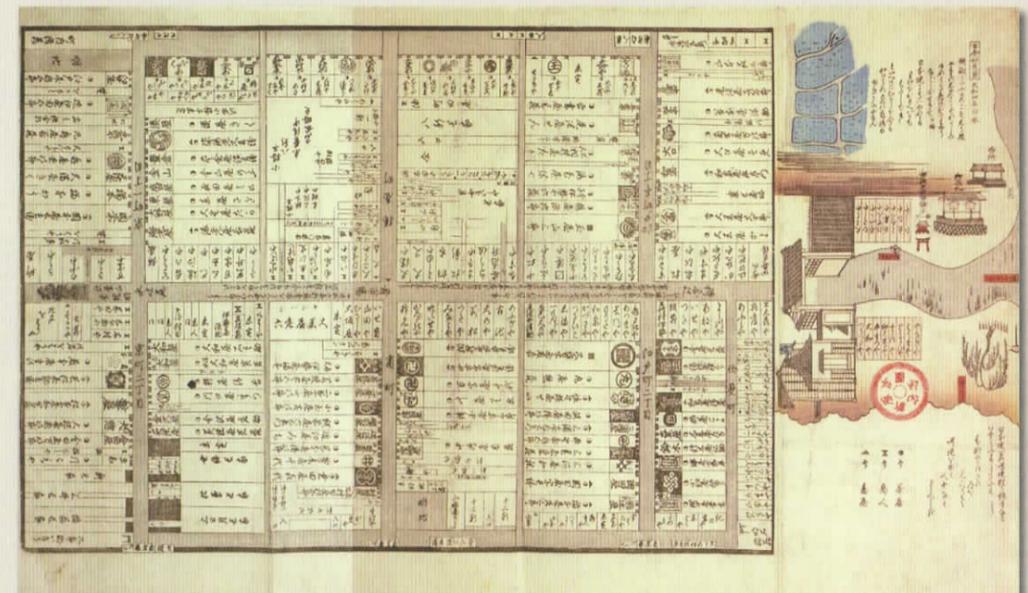
書庫を繙く

郷土・資料調査室の貴重資料を紹介する新コーナー



▲図1 [新吉原細見] 嘉永元年(1848)初秋刊 通常の細見。吉原大門までの高札場、見返り柳などが描かれる。

▲図2 [新吉原細見] 慶応元年(1865)仲秋序刊 細見のパロディ。風雷神門(雷門)までの並木道の様子と料理店の名が連ねてある。



▲図3 「吉原新宅全図」年代不明 右側の吉原大門までの道は図1とほぼ同じであるが色刷である。冊子体でなく、1枚で地図として見られる形態は珍しい。

今回から、「書庫を繙く」と題し、中央図書館郷土・資料調査室が所蔵する貴重資料を順次ご紹介していきます。

皆さんは、『吉原細見』という書物をご存知でしょうか。略して「細見」とも呼ばれ、江戸時代中期から制作された、妓楼や遊女の名などを明細に記した江戸吉原の案内書です。安永年間(1772-81)から、春秋2回の刊行になり、以後幕末、明治・大正まで刊行され続けました。

「細見」の構成は、冒頭に遊女の値段、序文、水茶屋の名、続いて江戸町一丁目から始まる妓楼と遊女の名が半丁(1頁分)に2軒あるいは4軒ずつ掲載されます。巻末には芸者名、田町や龍泉寺町などの近辺の茶屋や船宿の名前が載せられ、

最後に刊記として、年代と出版者名があります。中央図書館には「細見」が、26種所蔵されています。この中から、ちょっと変わった「細見」をご紹介しましょう。

序文の次に載せられる情報は、図1に見られるように、水茶屋の店の名が並び、突き当たりには吉原大門があるのが通常のもので。しかし図2では、左端、突き当たりには浅草観世音の風雷神門が描かれ、浅草寺門前に位置した料理屋の名前が連ねてあります。実は本書は、吉原細見のパロディです。通常遊女の名を記す妓楼の区画には、酒屋、呉服屋、小間物屋など様々な商店の屋号と商品名が記してあります。屋号には「新川屋酒蔵」「太物屋呉服郎」などとあり、実在する

台東区立中央図書館 郷土・資料調査室

〒111-8621
東京都台東区西浅草3-25-16
TEL.03-5246-5911
http://www.taitocity.net/tai-lib

【開館時間】
月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜・祝日 午前9時～午後5時

【アクセス】
■つくばエクスプレス「浅草」駅
A2出口から徒歩5分
■地下鉄日比谷線「入谷」駅 徒歩8分
■北めぐりん・南めぐりん
「生涯学習センター北」徒歩2分
■都バス「入谷二丁目」停留所 徒歩2分

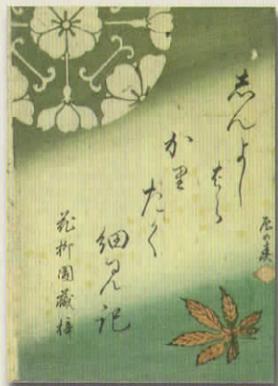


商店ではなく、架空のものだとわかります。

図3は、一枚刷で彩色がほどこされた地図形式の細見です。年代は不明ですが、本文の内容により、弘化4年(1847)のものとなります。

『吉原細見』で紹介される遊郭は、区内千束の地だけではありません。図4は、本体の「細見」に掛けて売られた「袋」です。「かりたく(仮宅)」とは遊郭が火災に遭った時、一時的に吉原周辺の百姓家に仮営業を許可された臨時の遊里です。浅草聖天町や浅草花川戸町、また深川永代寺門前町など24か町に分かれて営業された様子がわかります。

本年6月中旬より、郷土・資料調査室では、今回紹介した資料を展示する「吉原を細かく見る! (仮)」展を行う予定です。



▲図4 「しんよしはらかりたく細見記」袋 安政3年(1856)仲夏刊

(郷土・資料調査室 専門員 平野 恵)

「柏木家文書」 翻刻版を刊行しました

時計が普及していなかった江戸時代、時報の中心手段であったのが「時の鐘」です。江戸でも複数の時の鐘が設置され、区内には、寛永寺(上野)と浅草寺(浅草)に設置されていました。寛永寺時の鐘の鐘撞頭を代々務めていた柏木家にあった幕末・明治期の古文書が、郷土・資料調査室に所蔵されています。

鐘撞頭自身による記録は、時の鐘の実態がうかがえる貴重な資料といえます。本資料を広くご覧いただくため、このたび翻刻し、「柏木家文書」として刊行しました。歴史・文化研究に携わる団体・個人の研究の一助として活用していただけるよう、配付しています。ご希望の方は、郷土・資料調査室にお申し込みください。



▲「柏木家文書」表紙

郷土・資料調査室紹介 【地図棚編】

郷土・資料調査室内の隅にある「地図棚」には、主にサイズの大きな地図が多種収納されています。自由にお手にとってご利用ください。地図を複写される際は、著作権法の定めにより、1/2までの範囲となります。

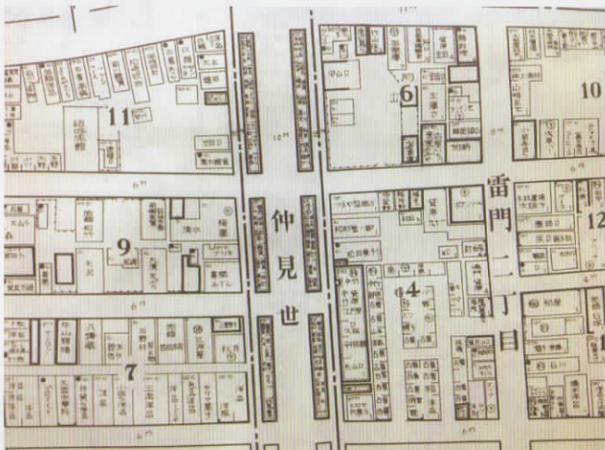


▲地図棚 手前の書棚側には全国の地形図が、奥の壁側には主に火災保険図や地籍図、古地図が収納されています。

主な地図は以下のとおりです。

- ①地形図(国土地理院):日本全国の基本図
- ②火災保険図(都市製図社):戦後の区内の建物を町域別に示した地図
- ③地籍図(内山模型製図社ほか):明治~昭和初期の土地区画と地番を町域別に示した地図
- ④その他、江戸から近年にかけての東京や台東区の各種大判地図

お探しの地図が見つからない方は、係員にお尋ねください。



▲昭和25年浅草寺仲見世付近の火災保険図(都市製図社)。建物一軒一軒が確認でき、現在の住宅地図に似ています。

平成25年度の企画展

「復興」

3月23日(金)~6月16日(日)

会期中入室者:14,607名

- ◆講演会「建築史の視点から見る震災復興~関東大震災、戦災、そして東日本大震災~」/6月1日(土)/講師:志村直愛氏(東北芸術工科大学教授)/参加者数:28名



▲絵はがき「吉原の大火」



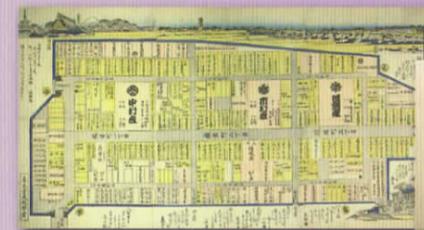
▲講演会

「歌舞伎のまち、浅草猿若町 ~江戸っ子があこがれた、粋でおしゃれな芝居町~」

6月21日(金)~9月18日(水)

会期中入室者:15,399名

- ◆講演会「芝居町 浅草猿若町の成立」/7月20日(土)/講師:宮本瑞夫氏(元立教女学院短期大学学長)/参加者数:94名



▲「呼子鳥和歌三町全図」(宮本記念財団 蔵)



▲講演会

「『坂本村文書』と入谷の植木屋~明治期農村の都市化」

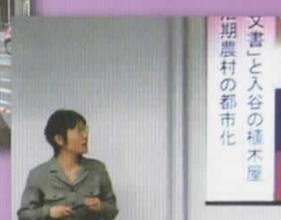
9月20日(金)~12月18日(水)

会期中入室者:13,599名

- ◆史跡散歩「坂本村を歩く」/11月9日(土)/講師:平野 恵(郷土・資料調査室専門員)/参加者数:21名
- ◆専門員によるスライド・トーク(展示解説)/10月4日(金)/参加者数:15名(2回分合計)



▲史跡散歩



▲スライド・トーク

「かつて浅草にあったコレクションたち。浅草文庫と台東図書館」

12月20日(金)~平成26年3月19日(水)

会期中入室者:9,918名(2月16日現在)

- ◆講演会「東京国立博物館の蔵書の流れと浅草文庫」/1月25日(土)/講師:佐々木利和氏(北海道大学教授)/参加者数:41名
- ◆図書館員によるリレー・トーク「台東図書館のあゆみ」/2月16日(日)/参加者数:21名
- ◆専門員によるスライド・トーク(展示解説)/1月10日(金)/参加者数:18名(2回分合計)/2月13日(木)/参加者数:15名(2回分合計)



▲リレー・トーク



▲講演会